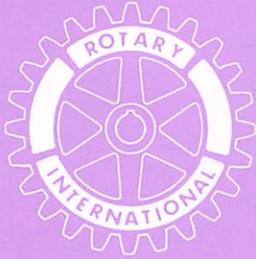


THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 名古屋東急ホテル
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 三好 親
 幹事 伊藤 健文
 広報・会報委員長 吉田 玄

No. 17

地域を育み、大陸をつなぐ

BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS

2010～2011年度 RI会長 レイ・クリンギンズミス

三好会長挨拶

皆さん、こんにちは!!
 本日はお時間がございませんので、一言!!
 先週の家族会では秋と真冬の寒い中、一番若い小杉君が風邪を引き、年長の竹内先生は今日もお元気にご出席頂いております。
 ご参加頂きました皆様有難うございました。

◆卓話

“R財団未来の夢計画と新地区補助金について”
 ロータリー財団委員会補助金委員長
 松尾 憲二郎君



11月はロータリー財団月間で、貴クラブで「財団の未来の夢計画と新地区補助金について」説明させていただくことが出来感謝申し上げます。

今年度から未来の夢計画のパイロット地区がスタートしてR財団のプロジェクトが大きく変わりました。財団奨学金、GSE(研究グループ交換)、地区補助金、マッチング・グラントが大きく変わりました。変わりようについては順次説明をいたします。

名古屋千種RC三好親会長、伊藤健文幹事そして43名の会員の皆様には、日頃よりR財団活動で大変ご支援ご協力をいただき御礼感謝申し上げます。

ロータリー財団活動には、大きく分けて2つの活動があります。財団活動のエネルギーとなる寄付金を集める委員会(資金推進、ポリオプラスの2委員会)とご寄付いただいた寄付金を活用する委員会(補助金、ロータリー財団プログラム、世界平和フェローシップの3委員会)の5委員会より構成されております。各委員会の詳しい活動については配布いたしましたA4版の「地区ロータリー財団委員会概要」に記してあります。

2009-2010年度大澤年度では、「毎年あなたの100ドルを」の標語のもとに名古屋千種RCの皆様方より財団年次寄付金で総額5,100ドル(1人当り102.00ドル)、そして使途指定寄付1,077.78ドル合計6,177.78ドルのご寄付をいただき本当にありがとうございます。是非

今日の例会

第1341回 平成22年11月30日(火)
 友愛の日

先週の例会

第1340回 平成22年11月16日(火)晴
 卓話 “R財団未来の夢計画と新地区補助金について”
 松尾憲二郎地区補助金委員会委員長

◆我等の生業

◆ビジター紹介

地区補助金委員長 松尾 憲二郎君 (小牧RC)

◆ゲスト紹介 米山奨学生 朱 美 栄 様
 保健衛生大学医学部5年生 尾崎加奈子様

◆出席報告

会員 43(37)名 出席 33名
 出席率 89.19%
 前々回 11/2(修正出席率)97.44%

伊藤幹事報告

- 1) 11月20・21日の地区大会に参加されます方はお忘れの無い様ご出席ください。
- 2) 次回例会終了後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方はお残り下さい。

◆渡邊源市君報告とお願い

今年の千種RCの補助金プロジェクトとして東山動物園へスピーカーシステムを寄贈する目録贈呈を8月にいたしました。会員堀江様のお力もお借りして、すべての機材が10月に納入する事が出来ました。

そこで、東山動物園の運用を見て頂きたく企画に参加をお願い申し上げます。

内容はCOP10おりがみプロジェクトとしてタイムカプセル埋蔵イベント、当日は会長と幹事にはご出席いただく事になっております。

場所と日時は名古屋東山総合公園動物会館レクチャーホール、植物園などで12月12日(日)10:00より15:00と時間が長いのですが、15:00の植物園にて埋蔵式に皆様に多数参加頂き、社会貢献としてのアピールにして頂きたいと思っております。

とも今年度も「毎年あなたも100ドルを」の目標達成にご協力をお願いいたします。

又、ポリオプラスでは、片山年度よりゲイツ財団の1億ドルの寄付金にあわせR財団も同額のポリオプラス1億ドルチャレンジがスタートし今年度募金3年の最終年度です。さらに、大澤年度に入りゲイツ財団より1億5500万ドルの上乗せ寄付が表明され、R財団もこの申し入れに康応してポリオプラス2億ドルチャレンジを決めました。これによりポリオ撲滅に大きな前進の再スタートとなります。この追加の寄付金については、会員からの寄付は募らず地区資金と地区ロータリー財団委員会の持っている地区財団活動資金(DDF)より充当して求められている寄付金額を納めることになっております。ポリオプラス委員会は、今年1月に委員会と有志のロータリアンの参加のもと実際にポリオの発生しているインドでワクチン投与を行いました。来年2月にも第2回のインドでのポリオワクチン投与の計画を立てています。希望者の募集が行われるそうですので応募してください。すばらしい奉仕活動が体験できるものと存じます。

いづれにしても、これまでの会員の皆さんの財団への年次寄付金、恒久基金、使途指定寄付金等の寄付金の一部が使われています。今後とも年次寄付金、恒久基金、大口寄付等ロータリー財団を支え、ご寄付にご協力をお願いいたします。

次に、ロータリー財団の寄付金の行方について説明いたします。今年度より2760地区は、未来の夢計画のパイロット地区に指定され従来の資金の使い方が変更になりました。

3年前に寄付していただいた年次寄付金と恒久基金の運用利息の合計額をWF(国際財団活動資金)とDDF(地区財団活動資金)に50%づつに分割されます。前年度大澤年度まではこのDDFで地区補助金、国際親善奨学金、GSE、ポリオプラス、世界平和フェローシップを実施してきました。しかしパイロット地区に指定された今年度よりDDFは、新地区補助金に50%以下、グローバル補助金に50%以上、ポリオプラスへの寄贈、世界平和フェローシップへの寄贈に振り分けられます。新地区補助金、グローバル補助金共に人道的、教育的プログラムに利用されます。DDFの活用点では、従来より地区の裁量が大きくなっております。

今年度よりスタートした新地区補助金は、その資金総枠は170,687ドルで地区内82RCのプロジェクトでご利用していただきます。新しくなった新地区補助金枠を全額各クラブあるいは地区委員会でご利用いただけるよう、昨年11月から機会あるごとに人道的、教育的プログラムの事業の計画・申請をお願いしてきました。今年2月に申請を受付し4月にガバナーの出席のもと審査会が開かれ、52RCからの新地区補助金申請が承認されました。総額170,685ドルです。具体的な各クラブの補助金事業の概要と補助金額は配布の資料で確認をしてください。障害者支援、スポーツ大会、子供教室、緑化・環境保護、奨学金、海外の弱者支援他さまざまな事業が取り上げられております。

是非とも、次年度も名古屋千種RCの新地区補助金申請をお待ちしております。こんな事業は対象になるのか等どしどし補助金委員会に、ガバナー事務所分室に問い合わせをしてください。皆さんの寄付金が戻ってくるとの考え方で、積極的に利用する方策を見つけ出してくだ

さい。補助金委員会は補助金事業を計画されるクラブの支援を主要目的としております。詳細については、会長、事務局に配布の「地区ロータリー財団 補助金制度の解説」(空色の小冊子)に詳しく説明されておりますが、不明な点を含めてどしどし問い合わせをしてください。

又、グローバル補助金は新地区補助金と同額の170,687ドルの資金枠のもと、DDF資金と同額のWFの資金と組合せて総額30,000~400,000ドルまでの長期・大型のプロジェクトに利用されます。利用目的がRIの決めた重点6分野(①平和と紛争予防/紛争解決 ②疾病予防と治療 ③水と衛生設備 ④母子の健康 ⑤基本的教育と識字率向上 ⑥経済と地域社会の発展)の事業に利用できます。今年度は財団プログラム委員会の職業研修チーム(VTT)委員会がアメリカに疾病予防と治療の研修で派遣すべくRI財団本部に提案書を提出済みで本部からの問合せ対応後申請書の提出になる予定です。又、地区WCS委員会がRID3360(タイ、チェンマイ)との共同プロジェクトでラオスの保健学校の学生寮改築支援事業を予算100,000ドルでRI財団に提案書を提出し、財団本部の質問にWCS委員会が対応しております。近いうちに申請書の提出に進むと考えます。そのほかに名古屋大須、知多、名古屋瑞穂、豊橋ゴールデンのRCが海外のパイロット地区内のRCと重点6分野の事業を計画し提案書の提出に向け相手クラブとの折衝をされております。グローバル委員会は各クラブの相談に乗り、RI日本事務局のグローバル補助金担当者との調整連絡にあたります。

各クラブで計画・実施されている海外での人道的・教育的プロジェクトが、新地区補助金 又はグローバル補助金の支給対象プロジェクトになるものが多くあると思います。是非との補助金委員会に問合せしてください。

次年度の新地区補助金の申請タイムスケジュールは、パイロット地区になり取り組みが6ヶ月以上早まり11月ごろから次年度の会長・幹事を中心にどのような補助金事業をクラブで取り組むかを、事務局に配布済みの「地区ロータリー財団 補助金制度の解説」を参照しながら検討してください。できれば来年2月始め開催予定の「財団システム管理セミナー」のときに提出、又は、2月末の締切日までに提出のタイムスケジュールとなります。それ以後、提出された申請書をもとに各クラブと補助金委員会とで事業の検討、調整を実施させていただき4月末の審議会にかかります。審議会承認された各クラブの申請案件は取り纏め一括して5月中にRI財団本部に申請されます。その承認は6月から7月になり、補助金の地区への入金は早くも8月始めごろと考えております。クラブへの振込みは8月中ごろの予定です。

グローバル補助金は提案書の締切日はありません。クラブか地区委員会が「補助金制度の解説」を参照の上で重点6分野の事業計画を立てた段階で、グローバル委員会に相談をかけてください。計画が提案書としてR財団本部に提出できるよう日本事務局との交渉を行います。

ロータリー財団の卓話をお聞きいただきありがとうございました。

◆ニコボックスは次回掲載させていただきます。